

教員名

辻本 千春

洲本市域学連携

地域活性化型  
イベント支援・運営型  
企業／自治体・国／NPO団体

「青空マーケット」設営の協力、図面に沿って立ち上げていった。



### 企画・活動概要

・洲本市が複数の大学とすでに実施している「域学連携」に参加することになった。大学の社会共創としての本格的な取り組みは次年度からとなるが、ゼミとして先行して実施することになった(研究演習Ⅰ、2年生)。

・ゼミの開始が9月末なので、ゼミ生に観光マネジメントに関する本を読ませ、課題やレポートを書かせながら、淡路島洲本市の産業や観光について調べさせた。

《洲本市フィールドワーク》

・10月25日(日): 洲本市訪問、午前中「青空マーケット」のサポートおよび見学をして、午後は洲本市担当者の案内で洲本市内を見学したのち、「域学連携」の課題の一つになっている「鮎屋(あいや)地区」を視察した

《発表会に挑戦》オンライン発表会

・2月11日(水): 日本観光研究会関西支部 NPO観光力推進ネットワーク・関西 学生連絡協議会主催の学生発表会で発表した。7大学12名のチームが参加。プロジェクトの途中の中間発表であったが、次年度はプロジェクトの完成版を発表させたい。

鮎屋ふれあい温泉自動販売機



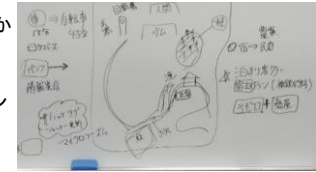
### 経緯・背景・目的



### 取り組む課題

◇ゼミとして取り組む課題

1. 「青空マーケット」をいかに島内、島外(京阪神)に告知するか
  2. 「鮎屋(あいや)地区」の活性化をどうするか
- の2点がメインであったが、2. の「鮎屋地区」の活性化をメインにすることになった。



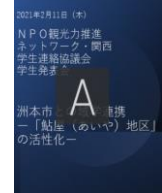
具体的な提案は次年度に実施する予定である。

### 本学(学生)の役割



### 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

今回は「洲本市域学連携」がスタートしたばかりで途中経過ですが、学生たちの経験として2月の発表会にも挑戦しました。



流通科学大学  
人間社会学部  
観光学科  
7点ゼミ(辻本ゼミ)

平野 太一  
大村 拓司  
ドチィ オアン  
伊藤 和輝  
小林 新  
王 振隆

まとめ

- ・現状は「鮎屋地区」だけの観光誘致はむづかしい
- ・テーマで結びコースを作る



### 5-2「鮎屋地区」の観光ポイント

- ・鮎屋の流
- ・鮎屋の流温泉(源泉はあるが・・・)
- ・鮎屋川ダム
- ・桜
- ・トレッキングコース
- などの多様な地域資源を活用し、集客を図る。

そのためにどうするか

- ・情報発信の強化
- ・クラウドファンディングで足湯?
- ・今後3年生になって、より具体的に「鮎屋地区の賑わい創生」の研究をしていきたいと考えています。

### 指導教員および関係者の紹介

人間社会学部  
観光学科  
教授  
辻本 千春

